

サブスクリプションサービスの利用状況からみるインターネットでの消費条件

氏名笠原聖人

近年スマートフォン等の電子機器が普及してきた。その機器で音楽を聴くなどを行うときにいくつか方法がある中で最近サブスクリプションサービスが主流になりつつある。筆者自身も数年前から利用してきたが、一人暮らしをしていたときと実家暮らしをしているときではサービスの利用状況が違うという経験からサービスの利用状況からインターネットでの消費条件を考察する。そのためにサブスクリプションサービスの利用状況のアンケート調査を行い、実際に分析を行った。調査を取った人間のうち8割がサブスクリプションサービスを利用していること、利用しているサービスは音楽と動画がおおいこと、利用金額の月平均はおおよそ1000円ということなどが結果として分かった。また結果の分析を行った。アルバイトをしている人物は自分で料金を支払っている傾向があること、サービスの利用料金はアルバイトをしているかによって有意な違いがあることなどが分かった。今回の調査から契約解除した人間は割引なしでも契約するという傾向が出た。消費行動をやめたことがある人間は割引なしでも消費行動を行うことが分かった。またアルバイトをしていると料金に違いが出た。定期的な収入があると人はより高い消費行動をとることが分かった。その一方今回の調査では1か月に使える金額などが有意水準を下回ることはないという結果になった。理由としてはサブスクリプションサービスの料金はあくまで定額であり新しくサービスに契約をする等がないと支払う金額に違いがないことと今回の調査ではサービスの利用料金の平均が1000円程度であり経済的な負担が少ないことにあると考察する。